

# 名古屋オルガンの秋

## Soli Deo Gloria 神のみに栄光 2022

### 11.6.

#### バッハ万華鏡

幻想曲ハ長調 BWV 573  
〈未完成 Th. マイヤー=フィービヒによる  
補作完成版〉  
前奏曲とフーガハ長調 BWV 457  
シュプラーコラール集 より  
カンタータ「われら汝に感謝す、神よ」BWV29  
シンフォニア・フーガ・コラール  
〈Th. マイヤー=フィービヒによる  
オルガン連弾編曲・世界初演〉

### 12.18.

#### 一人の幼子が生まれ 待降節と降誕節の作品

J. S. バッハの作品  
目覚めよと呼ぶ声あり BWV 645  
今来たれ、異邦人の救い主 BWV 661  
アルンシュタットのクリスマスコラール  
M. ビルン 「きよしこの夜」によるクリスマス牧歌曲  
その他クリスマスの聖歌をテーマとした作品



決まった  
入場料は  
設定して  
いません

## (日) 15:30-16:30 @カトリック五反城教会

プログラムは予告なく変更になることがあります  
諸事情によりコンサートが中止になる場合はホームページ<http://organaki.exblog.jp>でお知らせします

カトリック五反城教会  
中村区二瀬町27

地下鉄東山線「岩塚駅」  
2番出口より徒歩5分

主催：「名古屋オルガンの秋」実行委員会  
協力：カトリック五反城教会 二宮音楽事務所

お問合せ先：二宮音楽事務所052-505-0151  
mail@aya-yoshida.de  
オルガンの秋ホームページ：<http://organaki.exblog.jp>

コンサート運営の為に、みなさまのお気持ちに見合った任意のご寄金をお願いいたします



コンサートシリーズ「名古屋オルガンの秋」はカトリック五反城教会のパイプオルガンが修復されたこと、そして、カトリック五反城教会を創立した神言修道会の来日100周年を記念して2007年に始められ、今年で15年目、開催16回目を迎えます。今までこの「名古屋オルガンの秋」を通して本当にたくさんの出会いとご縁を頂きました。今までご支援下さいましたみなさまに厚く御礼を申し上げます。これからも、「パイプオルガンの楽しさ」と「祈りの音楽による心の響きと幸せ」を名古屋より発信し、多くの方に「調和・ハーモニー」をお届けして参りたいと思っています。

カトリック五反城教会には1978年にドイツ・ケルン市のペーター社によって建築された30ストップの楽器が設置されています。(78年当時は27ストップ、後に3ストップ追加。)音色は70年代に建築されたオルガンの典型的な配合がされていますが、その中には、E. K. レスラーというオルガン学者がペーター社の創立者であるヴィリ・ペーターと共同で開発した非常に珍しいパイプも数種類含まれています。又、整音はクラウス・ヒールシャーという希代の名整音士の手によって仕上げられており、日本にあるパイプオルガンの中でも歴史的な価値の非常に高い楽器だと言えるでしょう。そもそもペーター社はヴィルヘルム・ザウアーというドイツ・ロマン派を代表するオルガン建築家の製作所の支社として設立されました。ザウアーの代表作としては、ライプツィヒの聖トーマス教会、ベルリン大聖堂などのパイプオルガンが挙げられます。これらの世界的にも重要な楽器製作者の「孫楽器」が、カトリック五反城教会には設置されているのです。

当時の五反城教会司祭であったドイツ出身の神言会司祭ヨゼフ・トナイク神父はオルガンが設置された1978年に「名古屋オルガン友の会」を創立しました。以来、2001年に解散されるまで名古屋オルガン友の会は数多くのコンサート、又はコンサートシリーズを開催し、名古屋のオルガン文化の重要な担い手として活発な活動を続けていました。その頃は中部地方でも希少なパイプオルガンのうちの一台であったこの楽器を使用し、M.-Cl. アラン、W. ヤーコブ等、世界中から来日した名オルガニスト達がこぞってコンサートを行っています。

名古屋オルガンの秋実行委員会ではこの伝統を受け継ぎ、名古屋を中心に多面的なパイプオルガンの楽しさ、素晴らしさ、教会音楽の心を継続的に伝えていけるように活動をたく考え、「名古屋オルガンの秋」を催します。なるべく多くの方にパイプオルガンという楽器の魅力に触れて頂きたいという方針から、基本的に入場料は設定していませんが、今後の継続的な活動が可能となるよう皆様のご寄金のご協力を心よりお願いいたします。

## 演奏者



吉田文 Aya Yoshida

ドイツ・ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、並びにパイプオルガン科卒業。A級教会音楽家ドイツ国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。  
パーダーボルン大聖堂オルガニスト常時代理、ケルン南部司牧地区教会音楽家等を歴任。  
名古屋オルガンの秋主宰。日本オルガニスト協会会員。  
名古屋女子大学准教授。南山大学非常勤講師、南山エクステンションカレッジ、朝日カルチャーセンター講師。  
平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。  
令和3年度名古屋市民芸術奨励賞受賞。



トーマス・マイヤー＝フィービヒ Thomas Meyer-Fiebzig

ドイツ・デトモルト音楽大学作曲科、同大学院作曲課程科卒業。1978年来日。以来、国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる。ドイツ各地の大学にても特別講義講師としてたびたび招聘されている。  
作曲家としての活動の傍らオルガニストとしても活発な演奏活動を続けており、1998年にはドイツのエルツ山脈地方ナッツサウのジルバーマン製作の歴史的オルガンにてCDを収録した。2015年国立音楽大学退官。国立音楽大学名誉教授の称号を得る。  
「名古屋オルガンの秋」実行委員。  
令和元年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。

### 名古屋オルガンの秋 presents パイプオルガンブランチコンサート@愛知県芸術劇場

午前中のひとときを パイプオルガンの響きとともに  
ゴージャスに そして心安らかに...  
詳しくは<http://organaki.exblog.jp>をご参照ください。  
入場料1000円

お得です!

3月30日 (水) オルガン&トランペット  
6月4日 (土) 大聖堂のコンサートをソプラノと  
12月15日 (木) クリスマスの喜びをソプラノと  
ソリストによるアヴェ・マリアの聴き比べも  
お楽しみください♪